

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28 年 5 月 29 日			
所属学部・研究科	教育学研究科 2年次 (留学開始時点)			
留学先大学	セントメリーズ大学 (国名:カナダ)			
所属学部・学科等名	特になし			
在籍身分	Visiting Student Undergraduate			
留学期間	平成 27 年 9 月 9 日～平成 28 年 4 月 24 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 就学ビザ (就学許可証)			
	ビザ申請先: カナダ大使館			
	取得方法: オンライン申請。オンライン申請について詳しい方法がインターネットなどで探すところがあるので、参考にした。 提出書類: 留学資金の証明は英語表記のものを銀行から取り寄せないといけないので、早めに申請した。学校からの入学許可証、パスポート、顔写真等が必要でスキャナを使って申請することができる。			
	手続きに要した日数: 1ヶ月程度 (学校から入学許可証が届くのが遅いので焦りますが、他に準備できるものは予め準備した方が良いでしょう。)			
その他必要な事前手続き	履修する授業を決めてコーディネータに報告、寮の予約、パスポートの期限確認			
出国年月日	平成 27 年 8 月 25 日			
経路	羽田→トロント→ハリファックス			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 大学に予め申し込めば無料で空港からホテルまで送迎してもらえます) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月の上旬、授業が始まる前から様々なイベントが開催されています。留学生向けだけではなく、新入生のもも参加すると良いと思います。また、安く観光地にいける小さいバス旅行のようなものもあるので利用すると良いと思います。			
帰国年月日	平成 28 年 4 月 25 日			
経路	ハリファックス→トロント→羽田			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	164 万	円	
	内訳	渡航費	30 万	円
		保険料	10 万	円
		教科書代(学費)	5 万	円
		宿舍費	64 万	円
		食費	30 万	円
		その他 (旅費)	10 万	円
(生活用品費)	15 万	円		
(費)		円		
3. 授業について				

2015年 前期	9月 9日 ~	12月 18日
2016年 後期	1月 6日 ~	4月 24日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	交換留学生は、新入生と一緒に1年生用のコースを受講します。学部はいくつかに分かれています。現地の大学生と違い、学部に関係なく受講することができます。しかし、大半の学生がビジネスならビジネスコースだけを受講するので少し戸惑うかもしれません。また、2年生や3年生向けの授業を受講する際には、事前に1年生用の授業を取っていないと登録できないことが多いので、選ぶ際には気をつけてください。	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	前期も後期も、初めの1, 2週間は広島大学のように授業を変更できます。教授の名前だけをみてもわからないと思うので、初めはできるだけたくさん授業に参加してみるといいかもしれません。	
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	約 15 m ²	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 (ベッド、机)	
住居費	1ヶ月当たり 800(カナダドル)	約 8万円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学の寮は3種類あります。ルームメイトがいるダブルルームが良いのか、一人で暮らせるシングルルームが良いのか等考えて選ぶ必要があります。シングルルームは人気があるので早めの予約をお勧めします。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 10万円 補償額 死亡 1千万円, 入院1日 無制限 その他 ()	
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名		

日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療機関を利用しなかったので分かりません。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	やはり、寒さと乾燥により体調を崩すことがありました。薬等は日本で揃えていくと良いと思います。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
特にありません。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<p>ハリファックスは人が優しく、穏やかな町なので特に危険を感じることはありませんでした。しかし、少し危険な場所に行くとき恐ろしい事件が起こるといったような話も聞いたので夜遅くに出歩くことは控えた方が良いと思います。</p> <p>荷物はできるだけ少なめに持っていき、向こうで揃えて捨てて帰ると良いかもしれません。カナダから日本への送料は大変高いです。コンタクト、薬、日本食、ガイドブックなど、カナダでなかなか入手しにくいものは予め用意し、防寒具、日用品などは向こうで買うと良いと思います。</p>		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28年 9月	(当初の卒業予定年月 平成 27年 4月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に 大学院2年次に留学したため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動を行っており、夏に論文を提出し修了する予定です。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前に修了するために必要な単位は全て取り終え、論文発表等も行っていました。	
6. 留学準備、留学中に役立つ書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
<p>留学前には、セントメリーズ大学のコーディネータとメールで相談し授業を決めたり、奨学金を申し込んだり、寮を決めたりと色々準備することがあります。余裕を持って準備を進めると良いと思います。また、空港から大学は離れているので、無料の送迎を利用してみてください。不安もあるかと思いますが、セントメリーズ大学には日本人も多く在籍しており、留学生もたくさん受け入れているので大丈夫です。楽しんでみてください。</p>		

学習の概要に関するレポート

授業の選択に当たって注意しなければいけないことは、取れる授業と取れない授業があるということです。1年生向けの授業の場合、大体は履修可能だと思いますが、それでも後期に入ってから前期にとっておかないととれない授業などもあります。また、クラスの人数など、どれくらいのサイズなのかにも注意を払っておくと良いと思います。30人程度の小さいクラスだと、教授に名前を覚えてもらえるといった利点があるぶん、発表や質問等をしなければいけない雰囲気があり、はじめの頃はプレッシャーに感じるかもしれません。200人程度の大きいクラスだと、そのようなプレッシャーはないぶんクラスメイトと話す機会も中々ありません。どのような授業のスタイルが自分にあっているのか確かめるためにも、初めの履修期間を利用して様々な授業に参加してみると良いと思います。その際にシラバスが配られると思うので、どのように評価されていくのか、テストのスタイル、ディスカッションはあるのか等をみておくが良いと思います。例えばテストが3回あり、評価の90%を占める授業もあれば、テストが60%で出席やディスカッション等が40%を占める授業もあり多岐に渡っています。全く同じ授業の内容でも教授によってその評価のしかたは変わってくるので、自分にあったものを選ぶと良いと思います。他に気をつけなければいけないことは、人気の授業はすぐに埋まってしまうということです。しかし、履修期間の間に変更する人が多くいるので待っていれば履修できる可能性もありますし、教授に頼んでみるとオーバーライドとして受講人数を越えていたとしても受講できる可能性もあります。

私がセントメリーズ大学で履修したのは心理学、地理学、ドイツ語、フランス語です。前期と後期に最低3つの授業から5つまでを受講することができます。授業は月曜日から木曜日までで、一週間に2回ずつ同じ授業があります。例えば月曜日の3コマに心理学をとっていたとすると、水曜日の3コマにまた心理学があります。ドイツ語やフランス語はカナダ人にとっても第二言語となるので、私たち交換留学生と同じところからのスタートとなり、比較的英語による困難を感じませんでした。また、英語学習と同じように文法等を学んでいくのでもしかしたら日本人にとっては学びやすいのかもしれませんが。一方で心理学や地理学は全て英語で行われているので、もちろんカナダ人や英語話者にとっては簡単にできることも私たち交換留学生にはとても難しく感じました。しかしその分、予習復習などをしっかりすれば交換留学生だからといって、単位を落とすようなことはありません。むしろ、国籍に関係なく予習復習をしている人が高得点をとっていました。

また、セントメリーズ大学は現地でも有名くらい留学生を受け入れています。そのため、教授や学生は留学生に慣れており、学びやすい環境だったと思います。はじめの頃は大事なことを聞き落としそうで不安だったので、教授にお願いし、授業を録音させてもらいました。学習面で不安なことはあると思いますが、クラスの中で友達や知り合いをつくるのが一番だと思います。

生活の概要に関するレポート

まず初めに住むところについて述べていきます。私は大学の Loyola という寮に住んでいました。大抵の場合、Loyola はシングルルームですが私は大学院生だったからか、Senior apartment になりました。寮を決める際、自分で全てを決めることは出来ず、静かな方が良いか、シングルルームが良いのかなどを選び、最終的にどこになったのかメールで送られてきます。英語の会話がしたいからダブルルームが良いと思う人も多いと思いますが、私の場合一人になる空間が必要だと考えシングルルームを選びました。ルームメイトはランダムに振り分けられますが、私の友達の多くが中国やバハマなどの交換留学生同士でルームメイトになっていました。私の場合、シングルルームでもキッチンとバストイレを共有するルームメイトが一人おり、ドイツ人でした。Loyola の通常のシングルルームの場合、フロアでバストイレを共有するため、男女関係無く同じバストイレを使うそうです。またキッチンは私のような Senior apartment と Rice のシングルルームにしかついておらず、Vanier と Loyola の通常のシングルルームに住む人たちはミールプランを必ずつけなければいけません。私はキッチンがあったため自炊していましたが、ミールプランをつけている友達にお願いし一度ゲストパスを使って食堂も利用しました。食堂は食べ放題スタイルになっており、野菜、ラップ、ピザ、スープ、アイスクリームなどがありました。

食べ物に関して述べると、大学内には自動販売機、コンビニ、カフェが何箇所もあり、軽い軽食やスナックなどに困ることはありませんがきちんとした食べ物を買うにはスーパーや町で外食をしなければいけません。どちらにしても大学から少し離れているのでバスに乗るか歩かなければいけません。私は主に、バスの 9 番を使ってスーパーに、14 番、10 番を使ってスプリングガーデンロードに、14 番を使ってハリファックスショッピングセンターに、10 番を使ってミックマックモールに行っていました。バスの中では日本のような音声案内はなく、自分の目を使って降りなければいけません。また大学前のバス停も大学側がスプリングガーデンロードやミックマックモール方面、道路を挟んで反対側がハリファックスショッピングセンター方面、というようになっていますがそのような案内はないので注意してください。降りるときは黄色いチューブのようなものを引っ張って運転手にお知らせします。「transit」というアプリはあと何分でバスが来るのか、どのような経路を通るバスなのかを調べることができとても便利です。

最後に、セントメリーズ大学には Japanese society のようなソサエティが多くあります。友達をつくるには良い機会だと思います。後期になってくると、大体の学生と一緒に勉強したり遊んだりするグループを固め、中々出会いが少なくなってくるので前期の段階で出会いの機会を広げると良いと思います。カナダの人は優しく、ちょっとしたスーパーやカフェでも話す機会があるので気分転換が必要な時は町を散歩してみても良いと思います。8 ヶ月は長いようでとても短いです。せつかく頂いた貴重な機会なので、目標を決め、留学生生活を満喫してきてください。

留学中の写真

